四、第二ノ区分ニ依リ日給ヲ増加スルコト
日給二円以下　三十銭
〃　二円五十銭以下　二十銭
〃　三円以下　十銭
理由　物価高ニ収入アルモノト雖モ究所生活ニ付右金額
五、上半期賞与増加セラレ度シ　賞与金額ハ七月ヨリトナスコト
下半期ハ従前ノ通リ
六、病気欠勤ノ場合ハ左ノ手当ヲ支給スルコト
七日以上七十日以内ハ日給全額
七、兵役應召ノ場合ハ其ノ服務期間日給ノ半額ヲ支給スルコト
解役召集ノ場合ハ三、一項ノ率ニテ支給スルコト
八、右問題ニ関シ争議若シ出サザルコト
九、右要求條項ニ対スル回答期限ハ昭和十年七月十日
午前九時迄トス
ダンロップゴム極東会社
機械工組合
木工組合
運搬工組合

回答

第一、採用ス、但シ当分ノ間ハ工場ニ適応スルモノトナル事ヲ要ス
第二、承認ス、但シ当会社内ニ他ノ労働組合ノ幹部又ハ支部ヲ置カザル
第三ノ一項、営業不振ノ過失又ハ怠慢ニヨラズ事業縮少又ハ閉鎖ノ為メ解雇ノ場合ハ左ノ率ニヨリ解雇手当ヲ支給ス
一、満三ヶ月以下ノモノハ日給（常傭）五日分
二、勤続満参ヶ年以上六ヶ年以下日給（常傭）十日分
三、勤続満六ヶ年以上十二ヶ年以下日給（常傭）二日分宛ヲ一ヶ年増ス毎ニ増加ス
四、勤続十二ヶ年以上ハ日給（常傭）三日分宛ヲ一ヶ年ニ増ス毎ニ増加ス
第三ノ二項　勤務中災害負傷ノ為メ死亡シタル時ハ日給（常傭）三百六十五日分本規定ノ遺族ニ給付ス
第三ノ三項（イ）ニ対スル回答。単額及積立金ヲ年十五円ヲ支給ス